

病院年報

2021 年度



社会医療法人恒貴会

協和中央病院

目次

1. 事業計画

- 1) 2021年度 協和中央病院 事業計画
- 2) 2020年度 協和中央病院 事業計画
- 3) 2019年度 協和中央病院 事業計画

2. 診療実績

- 1) 協和中央病院 年度別患者数
- 2) 2021年度診療科別・月別患者数（外来延患者数）
- 3) 2021年度診療科別・月別患者数（入院延患者数）
- 4) 年齢別患者数
- 5) 地域別患者割合
- 6) 放射線科 年度別検査数
- 7) 検査科 年度別検査数
- 8) リハビリ科 年度別リハビリ数
- 9) 歯科口腔外科 年度別患者延数
- 10) 健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数
- 11) 居宅支援事業 年度別居宅件数・医療福祉相談件数
- 12) 手術件数（上位20項目）
- 13) 疾病中分類
- 14) 救急・時間外年度別患者数

【2021 年度 協和中央病院事業計画】

1 【目的・役割】

協和中央病院は、「相手の立場に立つ」という法人理念のもと、地域の急性期医療の中心を担う医療機関として、良質かつ安心・安全な医療及び介護を持続的に提供していくという使命を持ち、更なる成長を目指す。また多職種間の連携を強化し患者さんの命と健康を守る事を目的とする。

2 【年度目標】

- (1) 赤字体質からの脱却を目標に、医業収益の7割を占める入院収入増収に向け、入院患者の増患、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。
収入3%増収、経費5%削減、入院稼働率93%、平均在院日数19日以内、外来1日360名以上、救急車受入年間1,500件（夜間休日救急受入件数年間750件）以上を目標とする。
- (2) 診療体制の充実、及び強化に向け、医師、看護師、薬剤師の確保を最重要課題とし優先的に取り組む。
- (3) 感染防止対策に職員一丸となって取組み、院内における感染予防と発生の抑制を強化する。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- (4) 2025年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。地域の人口減少、高齢化の進行を見据えつつ、また近隣医療機関の状況を適切に把握し、当院としての方向性、地域の実情に応じた質の高い効率的な医療提供体制の構築に努める。

3 【事業計画】

I. 地域社会に貢献する

- (1) 恒貴会グループ各施設の役割、機能を十分に活用するため密接に連携し、救急医療から在宅までの医療提供体制の維持、また、更なる医療サービス向上に努める。
- (2) 社会医療法人認定要件継続に向け、救急患者受入体制の強化として救急車搬入入口（救急処置室）の増設を計画する。
また、同認定要件である災害医療（DMAT）についても検討する。
- (3) 地域の医療機関、介護施設、また各行政機関と密に連携し、患者・利用者の確保に努める。

II. 人材確保と離職防止に取り組む

- (1) 医療体制の継続、更なる医療サービス向上を目指し、マンパワー不足の解消に努める。医師、看護師、薬剤師確保を最重要課題とし、紹介会社の活用、各種学校への訪問を積極的に行い、法人の魅力を最大限にアピールする。
- (2) 入職希望者へ院内見学、職員との直接会話等を行い、新たな職場となる病院への不安解消を図る。
- (3) 働き方改革を踏まえ、労働時間、有休休暇等の改正に即した労働環境・雇用形態・勤務体系の整備に努める。
- (4) 人材育成として、専門的知識・技術取得、また専門資格取得等、職員の啓発意欲を積極的に支援し、職責へのモチベーション向上を促す。

III. 建物・設備のメンテナンスの充実をはかる

- (1) 将来的な建て替えを視野に入れつつ、医療環境の充実を図るため改修改善すべき老朽設備の整備に取り組む。
- (2) 改修改善重要設備
待合室身障者トイレの設置・病棟身障者トイレ改修・病棟浴室改修・病棟休憩室改修・病室ドアの改修・病室廊下等壁天井張替え・救急車搬入入口の増設・入院案内所設置・給排水設備の改修・駐車場舗装工事 等々
継続的な医療提供を行うため、施設改修に向けて中長期的に更新を行う。
- (3) 医機器等、機能、性能維持及び適正な使用を図るため計画的な保守点検を行う。
- (4) 機器更新において、当院の規模、件数及び診療報酬に見合った機器選定を行い、計画的な更新を行う。

IV. 医療安全及び危機管理体制

- (1) 医療事故防止・医薬品安全管理・医療機器安全管理・情報セキュリティー対策・ハラスメント防止対策の危機管理を徹底するため、時代・実情に即したマニュアルの改善と、マニュアルに沿った対応を強化する。
- (2) 院内感染防止対策として、新型コロナウイルス感染症の院内発生・院内持ち込み防止の強化を図る。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- (3) 個人情報の漏えい防止に職員一丸となり努める。
- (4) 電子カルテ等システムのトラブル及び電源ダウン時の訓練を定期的に行う。
- (5) 患者の暴力や迷惑行為、また苦情処理や訴訟対応を多職種連携し対応・対策に取り組む。
- (6) 医療安全対策強化として、インシデント報告を基に事例分析・分析結果・改善及び再発防止に取り組む。
- (7) 医療安全に関する最新情報の把握と職員への啓発を図る。

- (8) 大規模災害に備え、自ら被災した中で初期救急医療体制の充実強化が必要である。寸断なく医療提供を行う、人命を最大限優先する、災害拠点病院として地域の医療提供の核となる、を重要課題とし、マニュアルの見直し及び危機管理体制の強化を図る。

V. 経営改善

- (1) 赤字体質からの脱却を目標に、医業収益の7割を占める入院収入増収に向け、入院患者の増患、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。
- (2) 不採算部門の収支見直しを行い、経営改善策に取り組む。
- (3) 病院事業を継続及び成長させるために、内部的環境、外部的環境を迅速に把握し、国が進める2025年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。

新たなビジョン、プランの作成、機能再編やダウンサイジングを検討し、地域の人口減少、高齢化の進行を見据えつつ、また近隣医療機関の状況を適切に把握し、医療需要に対応した質の高い効率的な医療提供体制の構築に努める。

【2020年度 協和中央病院事業計画】

1 【協和中央病院長の基本方針】

- (1) 収入アップ、経費 10%削減を図る。
- (2) 職員ひとりひとりが主体的に行動し、連携と協働を大切にする。
- (3) 病院のホスピタリティの向上に向けて、明るく接し、患者様やご家族のご依頼に明るく元気に対応できる病院にしていく。

2 【各部門の事業計画について】

- (1) サービスチェーンを考え、患者が来院して帰るまで職員が正しく伝達し、安心して医療を受けられる体制をとれる事業計画を立てること。
- (2) 働き方改革を踏まえ、不要な業務を削除し効率的な働き方を考えて事業計画を立てること。
- (3) 事業計画目標は具体的な数字でわかりやすく説明の出来るよう工夫すること。
- (4) 各部門事業計画の具体的目標達成度の経過を半期ごとにヒアリングを行い、組織一体となって目的達成のための解決策を図る。

3 【協和中央病院の事業計画目標】

- (1) 社会医療法人認定要件継続のため、救急患者の受入体制の強化と断らない医療に向けて、積極的に救急患者の受入と短期入院患者の確保を図る。また、もう一つの要件である災害医療（DMAT）についても検討する。
- (2) 地域の医療機関や介護施設、及び消防・行政等と密接に連携し、患者・利用者の確保を図る。
- (3) 自分たちの社会医療法人であるという帰属意識を持って業務に精励する。
- (4) 社会医療法人として内部監査、及び外部監査の組織体制を構築する。
- (5) 病院単体赤字の解消に向けて入院稼働率 95%、平均在院日数 19 日以内、外来 1 日平均 360 人以上の確保を図る。
- (6) 医師、薬剤師、看護師の確保を最重要課題とし、積極的な採用に向けて診療体制の維持に取り組む。
- (7) 働き方改革を踏まえ、多職種連携による業務改善による勤務軽減を図る。
- (8) 病院機能評価認定要件の継続と対策に取り組む。
- (9) 業務の効率化とコスト削減を徹底する。
- (10) 部署別改善要望のヒアリングを行い、老朽化した建物及び設備のメンテナンス工事を計画的に行う。また、本館耐震基準化構造の確立を図る。
- (11) 建物及び設備の維持管理体制を構築する。

(12) 包括的な危機管理体制を構築する。

- ① 医療事故や感染管理、安全管理体制の強化を図る。
- ② 犯罪行為等に対する安全管理を推進する。
- ③ 患者等の個人情報漏えい防止の徹底を図る。
- ④ 苦情処理や訴訟等の対応に危機感を持って取り組む。
- ⑤ セクハラ、パワハラ防止の徹底を図る。
- ⑥ 電子カルテシステムのトラブル及び電源ダウン時の訓練を定期的実施する。
- ⑦ 医療機器及び関連設備の安全管理体制の徹底を図る。

【2019年度 協和中央病院事業計画】

1 【協和中央病院長の基本方針】

- (1) 収入 10%アップ、経費 10%削減をはかる。
- (2) 職員全てが主体的に行動し、横の繋がりを大切にする。
- (3) 病院のホスピタリティの向上に向けて、明るく接し、患者様やご家族のご依頼に明るく元気に対応できる病院にしていく。

2 【各部門の事業計画について】

- (1) サービスチェーンを考え、患者が来院して帰るまで職員が正しく伝達し、安心して医療を受けられる体制をとれる事業計画を立てること。
- (2) 働き方改革を踏まえ、不要な業務を削除し効率的な働き方を考えて事業計画を立てること。
- (3) 事業計画目標は具体的な数字でわかりやすく説明の出来るよう工夫すること。
- (4) 各部門事業計画の具体的目標達成度の経過を半期ごとにヒアリングを行い、組織一体となって目的達成のための解決策を図る。

3 【協和中央病院の事業計画目標】

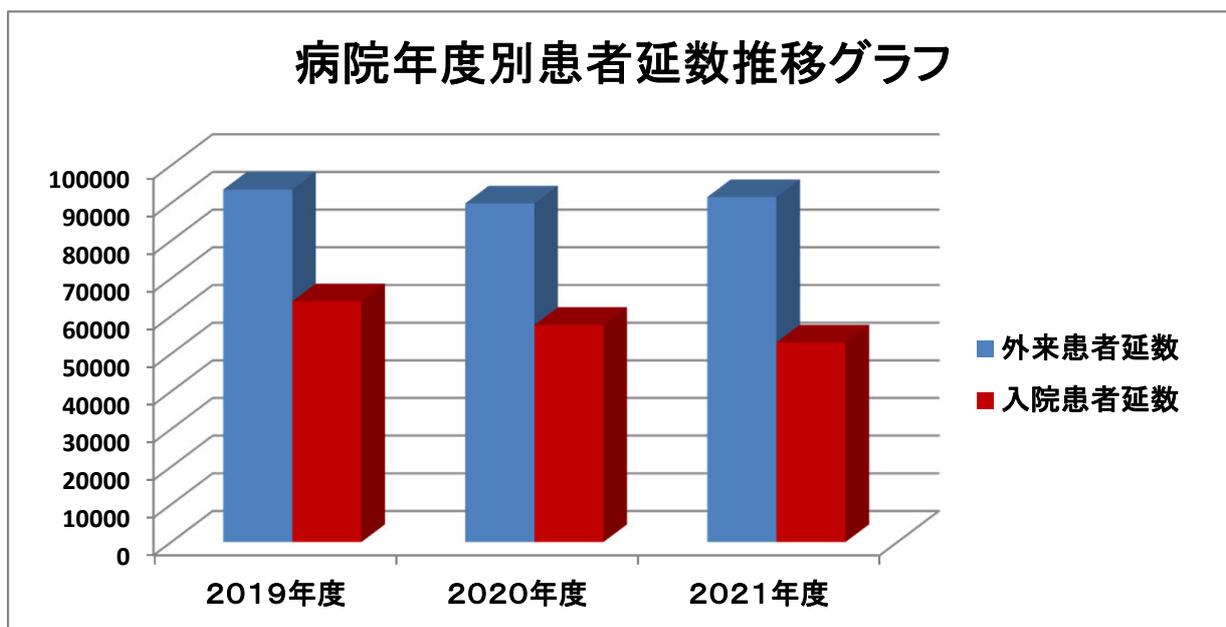
- (1) 協和中央病院単体赤字の解消に向けて入院稼働率 95%、平均在院日数 19 日以内、外来 1 日平均 360 人以上の確保を図る。
- (2) 医師、薬剤師、看護師の確保を最重要課題とし、積極的な採用に向けて診療体制の維持に取り組む。
- (3) 意識改革とコミュニケーションを図り、帰属意識を高める。
- (4) 組織改革のため、積極的に人事交流を図る。
- (5) 社会医療法人化に向け、救急医療による認可要件 休日、夜間救急 750 件以上の確保を図る。
- (6) 断らない医療に向けて、積極的に救急患者の受入と短期入院患者の確保を図る。
- (7) 働き方改革を踏まえ、多職種連携による業務改善による勤務軽減を図る。
- (8) 病院機能評価更新認定に向けての準備と対策に取り組む。
- (9) 業務の効率化とコスト削減を徹底する。
- (10) 老朽化した建物及び設備のメンテナンス工事を計画的に行う。
- (11) 部署別改善要望のヒアリングを行い、建物及び設備の維持管理体制を構築する。
- (12) 包括的な危機管理体制を構築する。
 - ① 医療事故や感染管理、安全管理体制の強化を図り、犯罪行為等に対する安全管理を推進する。
 - ② 患者等の個人情報漏えい防止の徹底を図る。

- ③ 苦情処理や訴訟等の対応に危機感を持って取り組む。
- ④ セクハラ、パワハラ防止の徹底を図る。
- ⑤ 緊急時連絡、電子カルテ・オーダーリングシステムのトラブル及び電源ダウン時の訓練を実施する。

1) 協和中央病院 年度別患者延数

(単位:人)

		2019年度	2020年度	2021年度
外来	新患者数	9,861	8,134	7,834
	患者延数	93,549	89,883	91,561
	1日平均	320	310	313
入院	入院患者延数	63,900	57,624	52,992
	1日平均	175.1	158.0	145.2



2) 2021年度診療科別・月別患者数(外来患者延数)

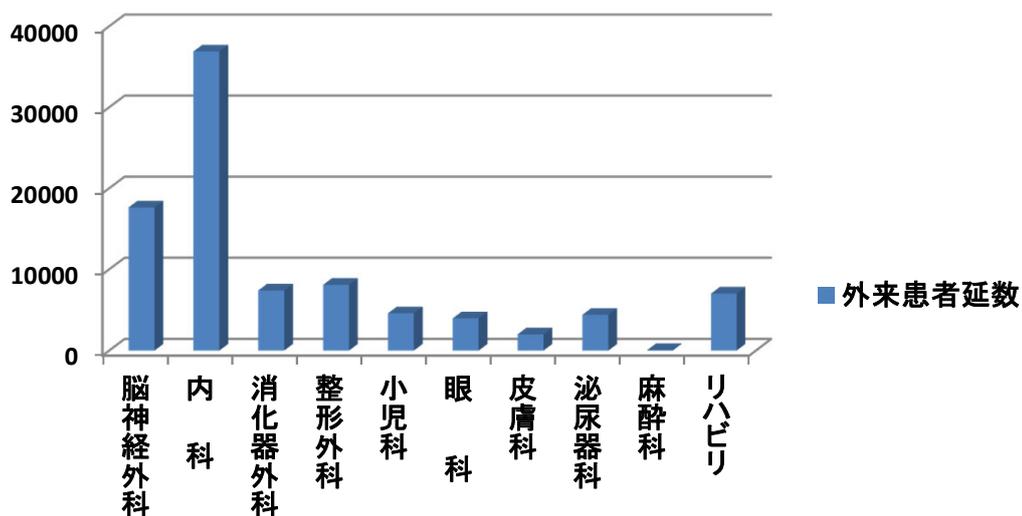
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外来	脳神経外科	1,469	1,317	1,513	1,464	1,358	1,454	8,575
	内科	2,976	2,784	2,927	3,193	3,503	2,938	18,321
	消化器外科	597	559	644	663	575	704	3,742
	整形外科	775	737	700	714	560	664	4,150
	小児科	624	415	364	370	367	326	2,466
	眼科	370	316	351	393	300	352	2,082
	皮膚科	147	151	179	171	175	200	1,023
	泌尿器科	343	336	377	328	371	408	2,163
	麻酔科	5	7	5	6	2	8	33
	リハビリ	670	602	647	626	616	538	3,699
合計	7,976	7,224	7,707	7,928	7,827	7,592	46,254	

(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外来	脳神経外科	1,482	1,502	1,552	1,469	1,310	1,749	9,064	17,639
	内科	2,846	2,755	2,937	3,507	3,084	3,447	18,576	36,897
	消化器外科	671	705	654	595	474	565	3,664	7,406
	整形外科	744	654	734	700	492	624	3,948	8,098
	小児科	346	342	352	356	317	413	2,126	4,592
	眼科	344	313	352	304	270	306	1,889	3,971
	皮膚科	177	167	188	147	143	156	978	2,001
	泌尿器科	350	370	433	371	307	413	2,244	4,407
	麻酔科	9	2	4	5	4	5	29	62
	リハビリ	617	635	647	523	365	535	3,322	7,021
合計	7,586	7,445	7,853	7,977	6,766	8,213	45,840	92,094	

診療科別外来患者延数



3) 2021年度診療科別・月別患者数(入院患者延数)

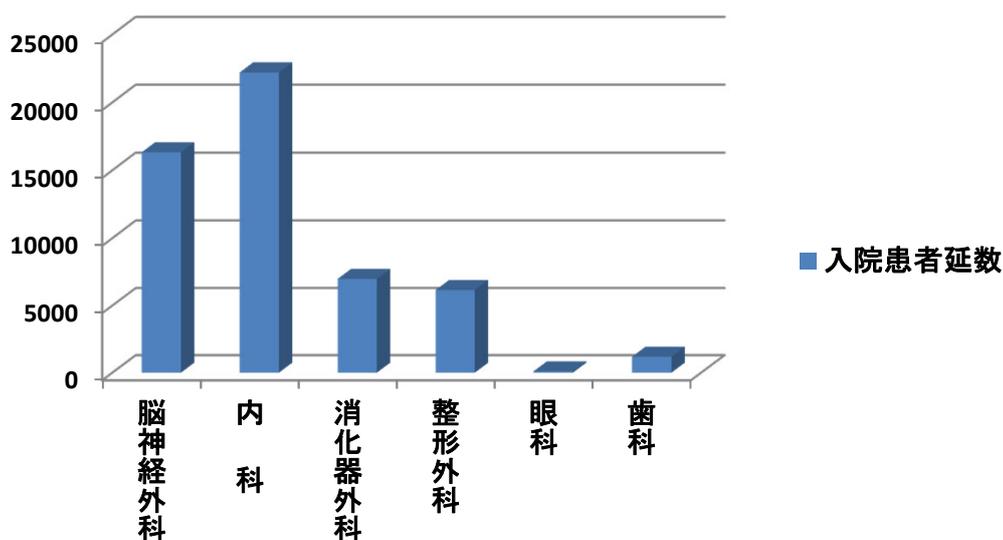
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
入院	脳神経外科	1,260	1,242	1,340	1,368	1,371	1,638	8,219
	内科	2,137	2,293	2,041	2,058	2,045	1,729	12,303
	消化器外科	348	511	571	531	588	674	3,223
	整形外科	495	496	687	724	424	216	3,042
	眼科	8	6	15	25	6	10	70
	歯科	123	80	85	105	91	66	550
	合計	4,371	4,628	4,739	4,811	4,525	4,333	27,407

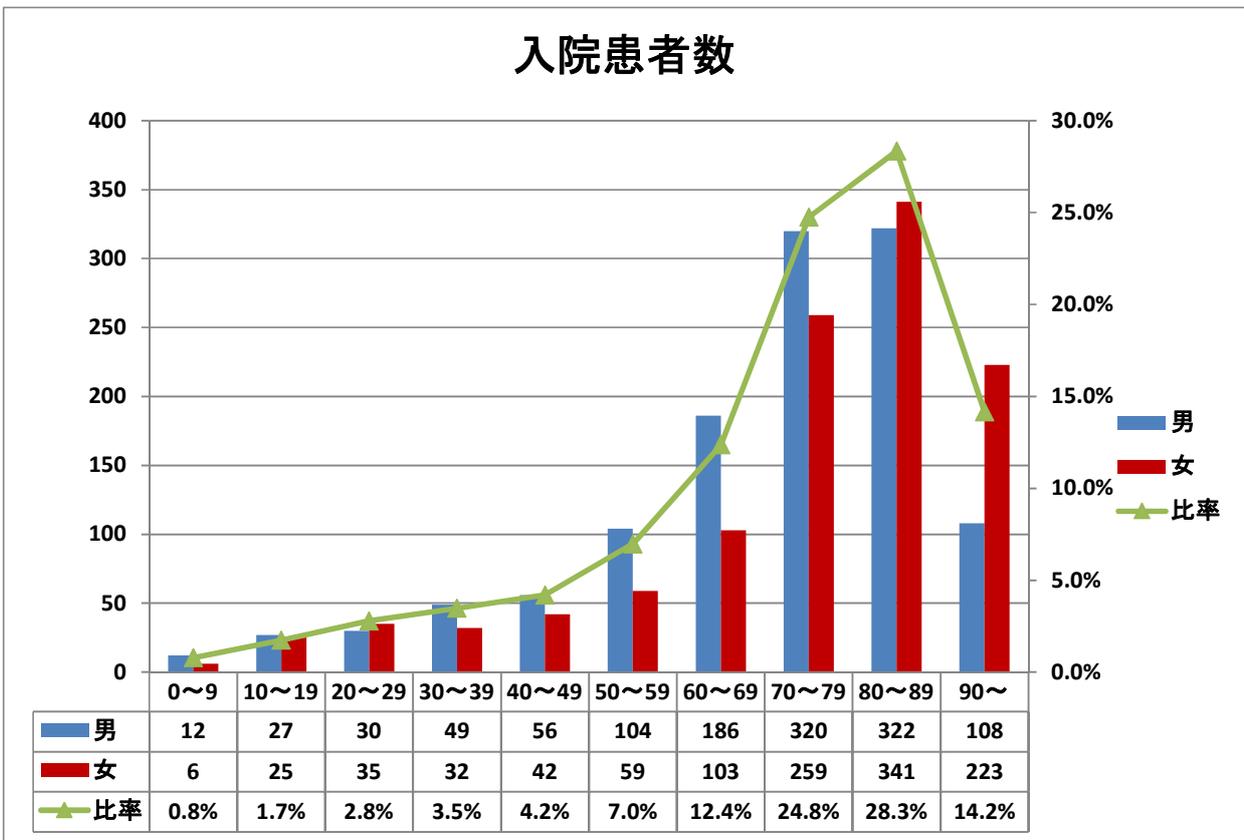
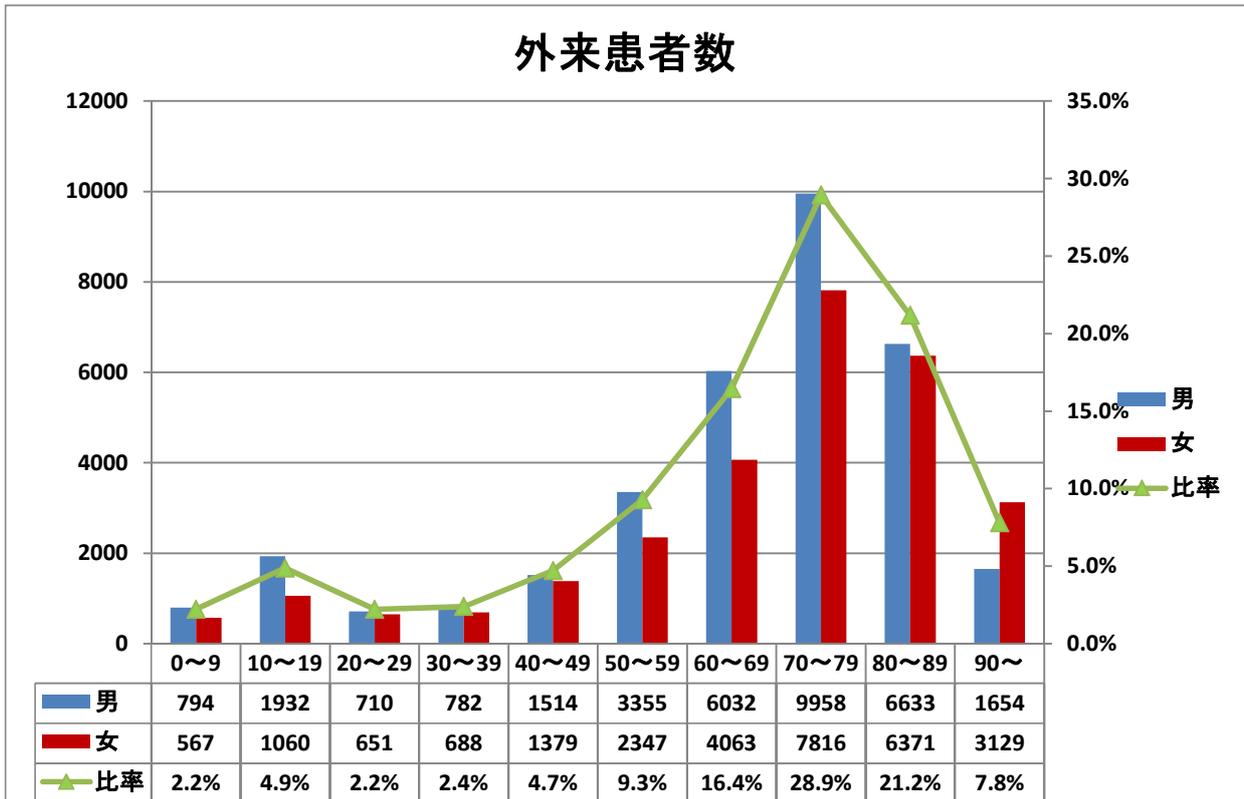
(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入院	脳神経外科	1,394	1,130	1,327	1,443	1,383	1,429	8,106	16,325
	内科	1,709	1,708	1,541	1,710	1,720	1,514	9,902	22,205
	消化器外科	872	737	729	578	412	439	3,767	6,990
	整形外科	456	467	611	671	516	399	3,120	6,162
	眼科	14	6	8	4	4	1	37	107
	歯科	120	118	114	97	104	88	641	1,191
	合計	4,565	4,166	4,330	4,503	4,139	3,870	25,573	52,980

診療科別入院患者延数

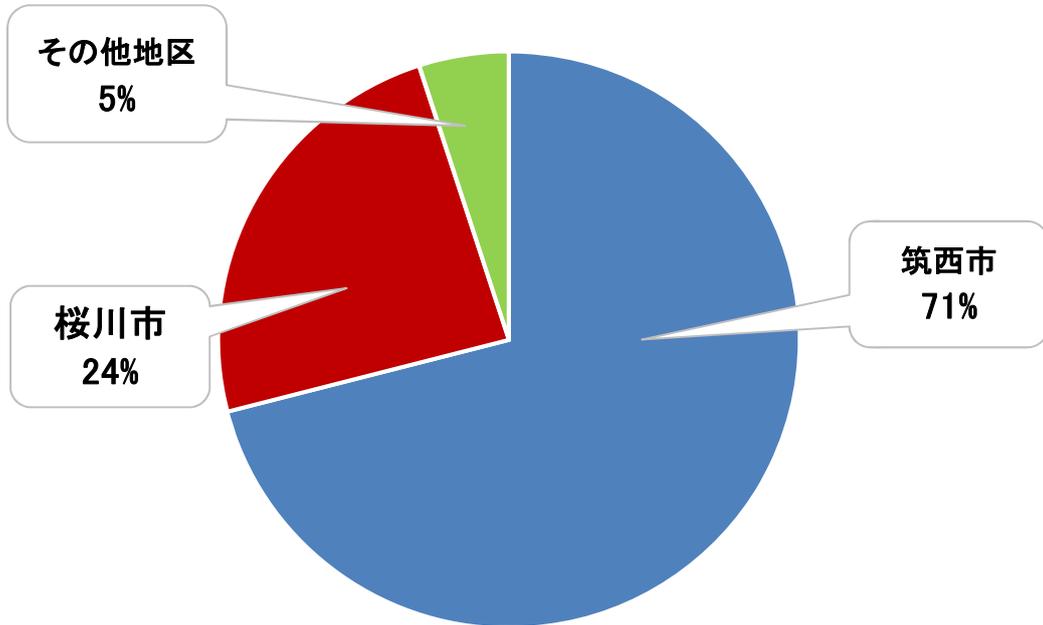


4) 年齢別患者数

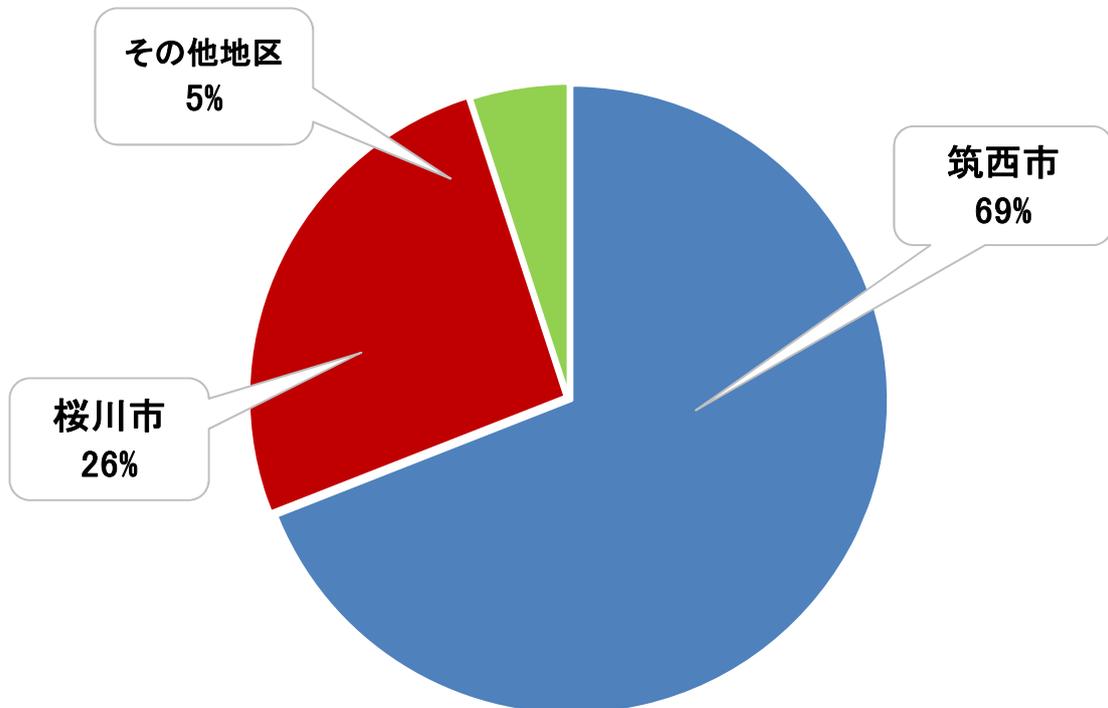


5) 地域別患者割合

外来患者



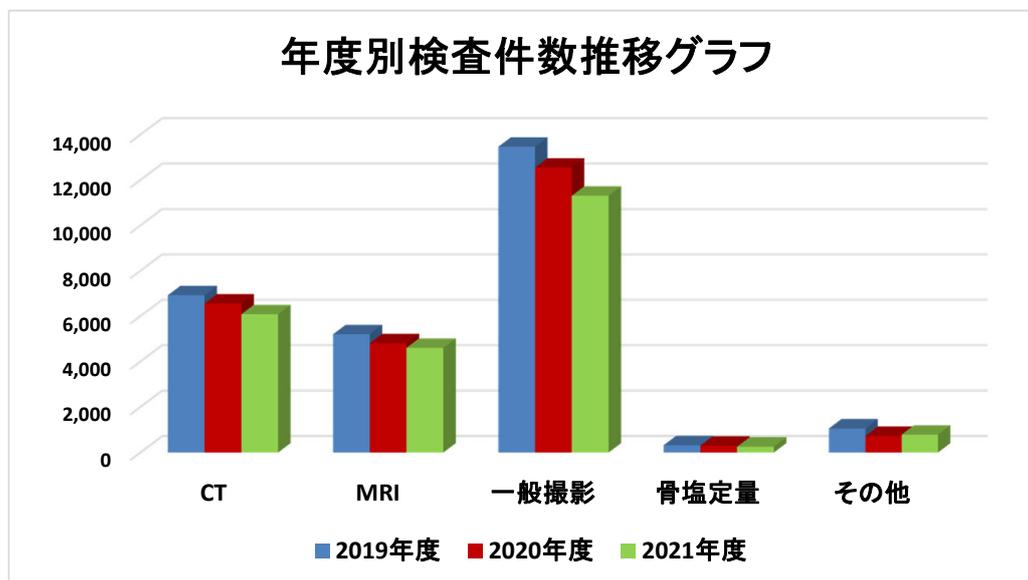
入院患者



6)放射線科 年度別検査件数

(単位:件)

		2019年度	2020年度	2021年度
CT	外 来	5,702	5,343	5,091
	入 院	1,222	1,215	994
	計	6,924	6,558	6,085
MRI	外 来	4,700	4,328	4,185
	入 院	506	481	421
	計	5,206	4,809	4,606
一般 撮影	外 来	9,055	8,326	7,652
	入 院	4,415	4,224	3,659
	計	13,470	12,550	11,311
骨塩定量		325	305	259
その他		1,062	732	790
合 計		26,987	24,954	23,051



7) 検査科 年度別検査件数

(単位:件)

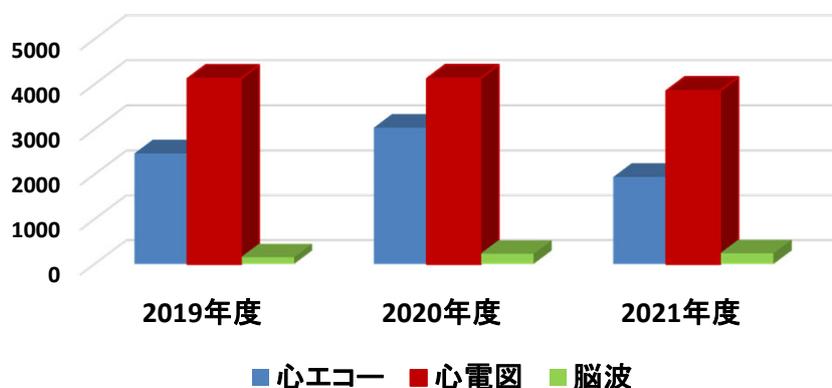
		2019年度	2020年度	2021年度
超音波 (心臓)	入院	298	315	254
	外来	471	473	421
超音波 (胸腹部)	入院	183	222	79
	外来	1,119	1,681	822
超音波 (その他)	入院	82	93	123
	外来	313	255	244
計		2,466	3,039	1,943

心電図	入院	1,861	1,657	1,398
	外来	2,155	2,339	2,300
ホルター型 心電図	入院	22	33	74
	外来	85	97	83
計		4,123	4,126	3,855

脳波	入院	28	22	23
	外来	121	205	214
計		149	227	237

合計		6,738	7,392	6,035
----	--	-------	-------	-------

年度別検査件数推移グラフ

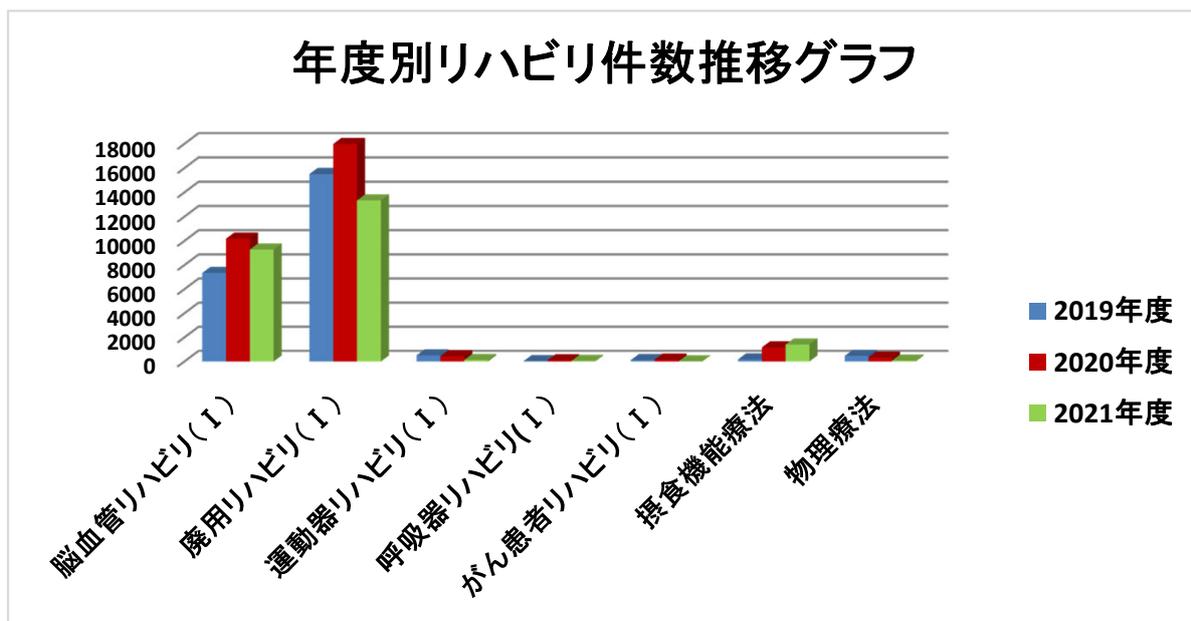


8)リハビリ科 年度別リハビリ件数

(単位:件)

入院	2019年度	2020年度	2021年度
脳血管リハビリ(I)	20,287	26,747	25,368
廃用リハビリ(I)	7,261	10,106	9,141
運動器リハビリ(I)	8,051	9,539	4,901
呼吸器リハビリ(I)	40	107	44
がん患者リハビリ	119	168	13
摂食機能療法	176	1,168	1,415

外来	2019年度	2020年度	2021年度
脳血管リハビリ(I)	9,837	6,775	6,051
廃用リハビリ(I)	88	81	146
運動器リハビリ(I)	7,459	8,448	8,435
物理療法	470	320	76



9) 歯科口腔外科 年度別患者延数

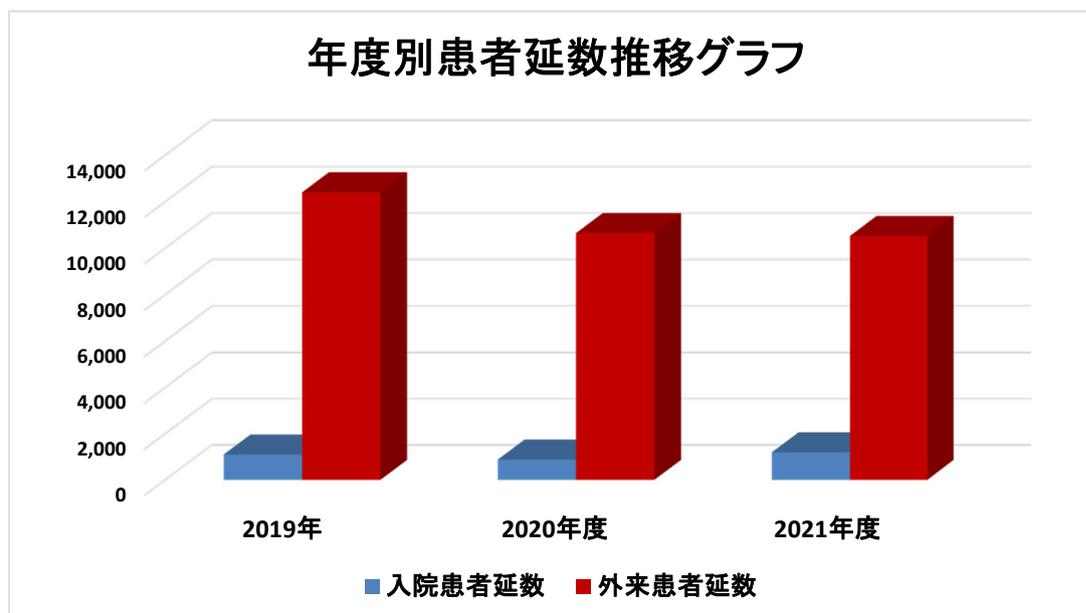
(単位:人)

	2019年	2020年度	2021年度
入院患者延数	1,105	882	1,192
手術件数(全身麻酔件数)	303(191)	262(174)	284(213)
外来患者延数	12,404	10,652	10,529

主要手術名称

埋伏歯抜歯手術	顎骨腫瘍摘出術	インプラント手術
過剰歯抜歯手術	舌腫瘍摘出術	下顎隆起形成術
舌悪性腫瘍切除術	頬粘膜腫瘍摘出術	顎骨内異物除去術
顎関節形成術	唾石摘出術	有病者・障害者・小児歯科治療
萌出困難歯開窓術	靦血の整復固定術	顎下腺摘出術
頸部郭清術		etc

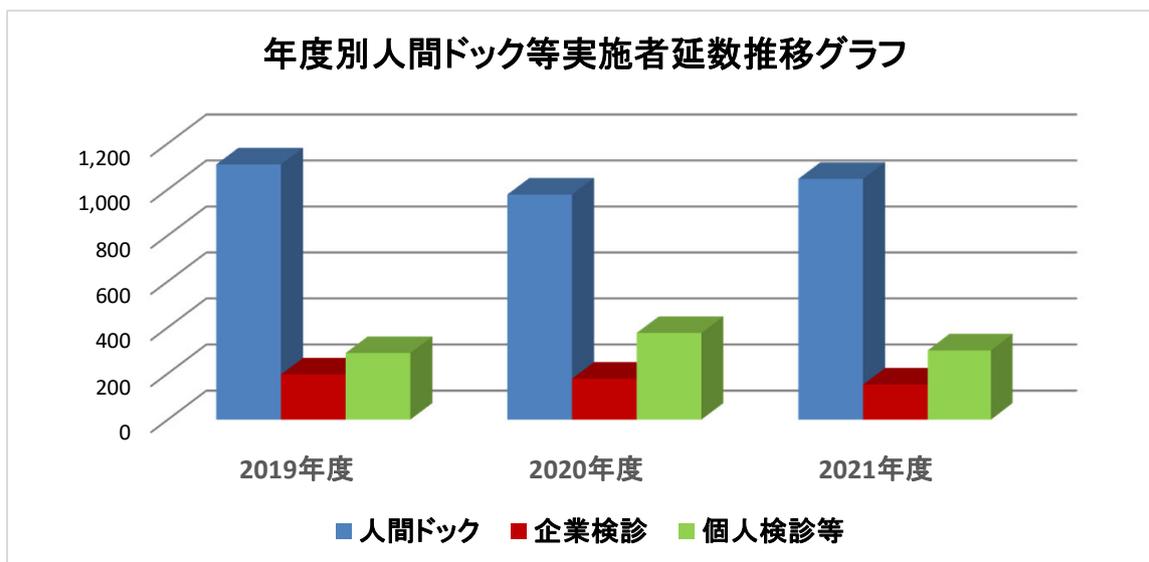
年度別患者延数推移グラフ



10)健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数

(単位:人)

	2019年度	2020年度	2021年度
人 間 ド ッ ク	1,109	978	1046
企 業 検 診	196	178	152
個 人 検 診 等	289	376	300



11) 居宅支援事業 年度別居宅件数 ・ 医療福祉相談件数

2019年度 居宅件数

	件数
介護給付	2,413件
予防給付	259件

2019年度 医療福祉相談件数

1. 診療科別患者数

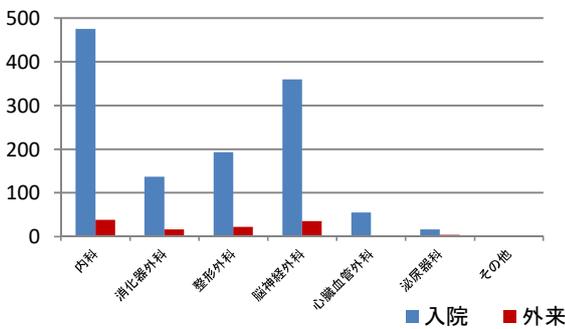
【個別援助内訳】

個別援助内訳	患者数
新規患者数	1,354
利用患者総数	1,139
延べ患者数	13,745

- ・新規患者数・・・新規の人数
- ・利用患者総数・・・SWが関わった総人数
(前年度繰越人数+新規人数+継続人数)
- ・延べ患者数・・・SWが関わった延べ回数
(Aさん・・・5回 Bさん・・・7回 …の総合計のこと)

【個別援助受診科別患者数】

新規

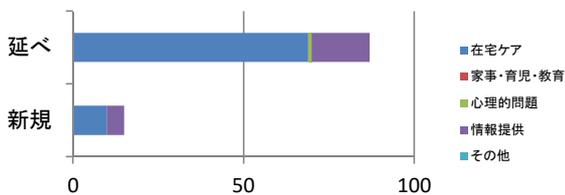


【算定実績】

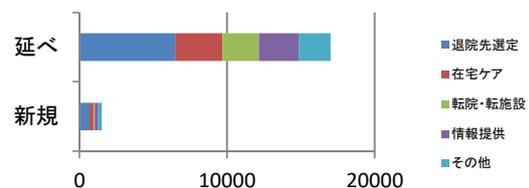
	件数
入退院支援加算	1,037件 (入院 12件・退院 1,025件)
介護支援連携指導料	309件
退院時共同指導料	11件

援助内容別チェック数

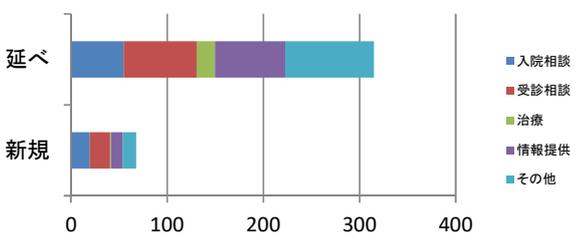
【心理・社会的問題】



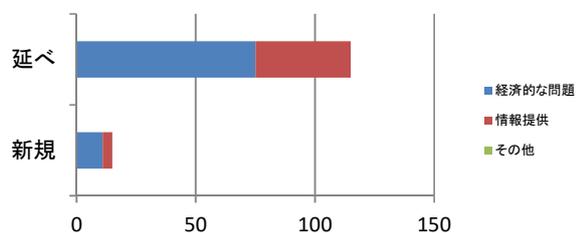
【退院支援】



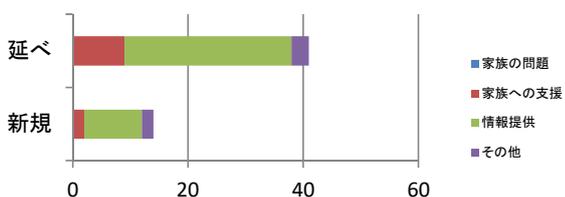
【受診・受療】



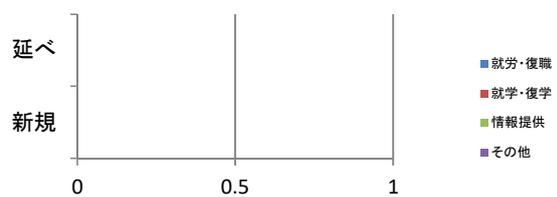
【経済的問題】



【家族への支援】



【社会復帰支援】



2020年度 居宅件数

	件数
介護給付	2,286件
予防給付	279件

2020年度 医療福祉相談件数

1.診療科別患者数

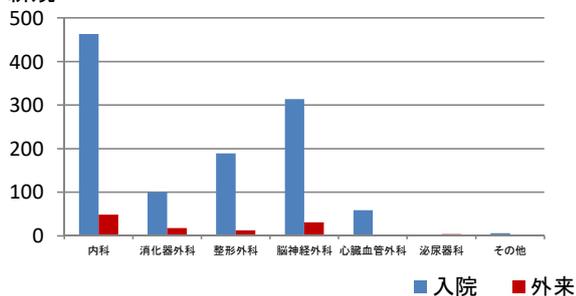
【個別援助内訳】

個別援助内訳	患者数
新規患者数	1,250
利用患者総数	1,062
延べ患者数	13,701

- ・新規患者数・・・新規の人数
- ・利用患者総数・・・SWが関わった総人数
(前年度繰越人数+新規人数+継続人数)
- ・延べ患者数・・・SWが関わった延べ回数
(Aさん・・・5回 Bさん・・・7回 …の総合計のこと)

【個別援助受診科別患者数】

新規

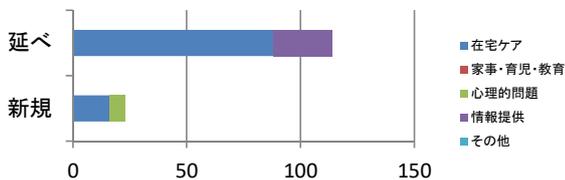


【算定実績】

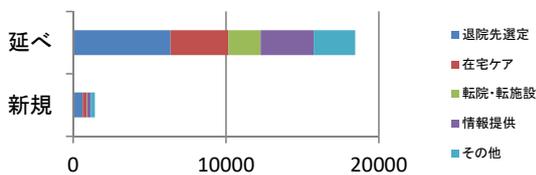
	件数
入退院支援加算	1,002件 (入院 2件・退院 1,000件)
介護支援連携指導料	119件
退院時共同指導料	50件

援助内容別チェック数

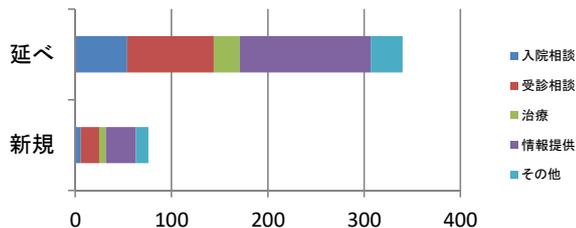
【心理・社会的問題】



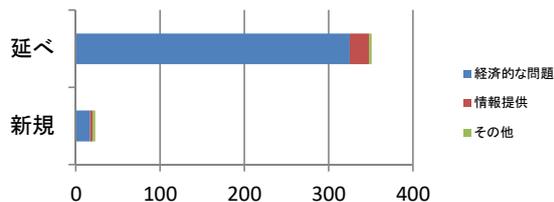
【退院支援】



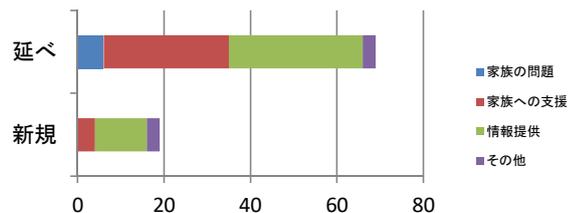
【受診・受療】



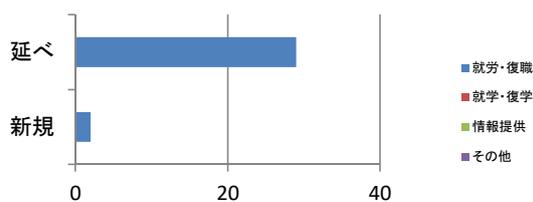
【経済的問題】



【家族への支援】



【社会復帰支援】



2021年度 居宅件数

	件数
介護給付	2,145件
予防給付	262件

2021年度 医療福祉相談件数

1. 診療科別患者数

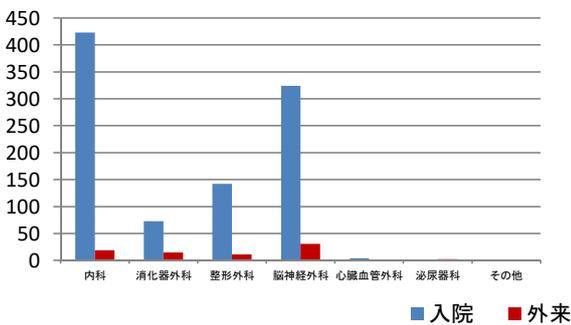
【個別援助内訳】

個別援助内訳	患者数
新規患者数	1,046
利用患者総数	948
延べ患者数	11,296

- ・新規患者数・・・新規の人数
- ・利用患者総数・・・SWが関わった総人数
(前年度繰越人数+新規人数+継続人数)
- ・延べ患者数・・・SWが関わった延べ回数
(Aさん・・・5回 Bさん・・・7回 …の総合計のこと)

【個別援助受診科別患者数】

新規

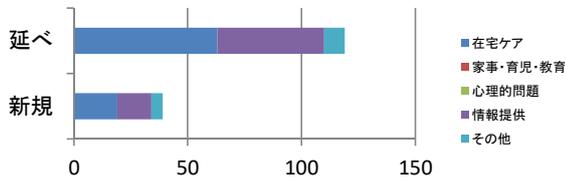


【算定実績】

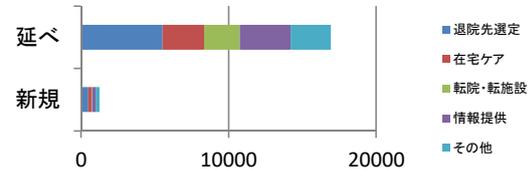
	件数
入退院支援加算	904件 (入院 8件・退院 896件)
介護支援連携指導料	62件
退院時共同指導料	13件

援助内容別チェック数

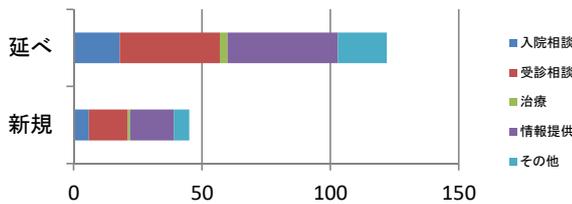
【心理・社会的問題】



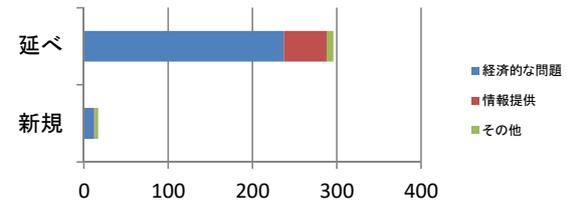
【退院支援】



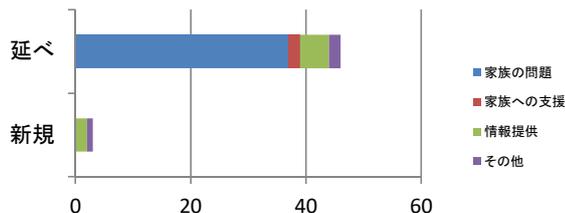
【受診・受療】



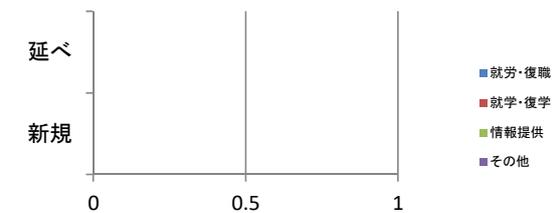
【経済的問題】



【家族への支援】



【社会復帰支援】



12)手術件数(上位20項目)

	手術名称	件数
1	抜歯手術(埋伏歯・臼歯・前歯・乳歯)	310
2	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	160
3	顎骨腫瘍摘出術	75
4	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)	43
5	骨折観血的手術(四肢)	41
6	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	28
7	鼠径ヘルニア手術	25
8	骨内異物(挿入物を含む)除去術(四肢)	23
9	関節内骨折観血的手術(四肢)	22
10	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)(指)	19
11	経皮的内視鏡下胃瘻造設術	18
12	人工骨頭挿入術(股)	17
13	胆嚢摘出術	13
14	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	12
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	
15	内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみ)	11
16	内視鏡的胆道ステント留置術	9
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	
17	下顎骨部分切除術	7
	内視鏡的消化管止血術	
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	
18	内視鏡的胆道結石除去術(胆道碎石術を伴うもの)	6
19	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	5
	腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)	
20	人工肛門造設術	4

13) 疾病中分類

	疾病分類表(中分類)	基本分類コード	患者数
1	腸管感染症	A00-A09	27
2	結核	A15-A19	2
4	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	B00-B09	6
5	ウイルス肝炎	B15-B19	4
6	その他のウイルス疾患	A80-A99,B20-B34	3
7	真菌症	B35-B49	3
9	その他の感染症及び寄生虫症	A00-B99の残り	17
10	胃の悪性新生物	C16	34
11	結腸の悪性新生物	C18	114
12	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	49
13	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	6
14	気管、気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	15
15	乳房の悪性新生物	C50	3
17	悪性リンパ腫	C81-C85	5
18	白血病	C91-C95	3
19	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	51
20	良性新生物及びその他の新生物	D00-D48	23
21	貧血	D50-D64	16
22	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D65-D89	3
24	糖尿病	E10-E14	19
25	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E15-E90	88
28	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F20-F29	2
29	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	F30-F39	1
30	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F40-F48	8
33	パーキンソン病	G20	9
34	アルツハイマー病	G30	8
35	てんかん	G40-G41	29
36	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	G80-G83	1
37	自律神経系の障害	G90	13
38	その他の神経系の疾患	G00-G99の残り	27
40	白内障	H25-H26	43
42	その他の眼及び付属器の疾患	H00-H59の残り	2
47	メニエール病	H81.0	7
48	その他の内耳疾患	H80,H81.1-H83	50
50	高血圧性疾患	I10-I15	5
51	虚血性心疾患	I20-I25	20
52	その他の心疾患	I01-I02.0,I05-I09,I27,I30-I52	74
53	くも膜下出血	I60,I69.0	11
54	脳内出血	I61,I69.1	38
55	脳梗塞	I63,I69.3	207
57	その他の脳血管疾患	I62,I64-I67.1,I67.3-I68,I69.2,I69.4-I69.8	5
58	動脈硬化(症)	I70	7
60	低血圧(症)	I95	5
61	その他の循環器系の疾患	I00-I99の残り	16
64	その他の急性上気道感染症	J01,J04-J06	1
65	肺炎	J12-J18	80
66	急性気管支炎及び急性細気管支炎	J20-J21	3
68	慢性副鼻腔炎	J32	2
69	急性又は慢性と明示されない気管支炎	J40	3
70	慢性閉塞性肺疾患	J41-J44	19
71	喘息	J45-J46	1
72	その他の呼吸器系の疾患	J00-J99の残り	88
73	う蝕	K02	7
74	歯肉炎及び歯周疾患	K05	12
75	その他の歯及び歯の支持組織の障害	K00-K01,K03-K04,K06-K08	169

	疾病分類表(中分類)	基本分類コード	患者数
76	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25-K27	9
77	胃炎及び十二指腸炎	K29	3
78	アルコール性肝疾患	K70	6
80	肝硬変(アルコール性のものを除く)	K74.3-K74.6	3
81	その他の肝疾患	K71-K72,K74.0-K74.2,K75-K77	11
82	胆石症及び胆のう炎	K80-K81	60
83	膵疾患	K85-K86	8
84	その他の消化器系の疾患	K00-K93の残り	231
85	皮膚及び皮下組織の感染症	L00-L08	36
86	皮膚炎及び湿疹	L20-L30	1
87	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	L10-L14,L40-L98	4
88	炎症性多発性関節障害	M05-M14	4
89	関節症	M15-M19	2
90	脊椎障害(脊椎症を含む)	M45-M49	9
91	椎間板障害	M50-M51	4
93	腰痛症及び坐骨神経痛	M54.3-M54.5	3
94	その他の脊柱障害	M40-M43, M53.0, M53.2-M53.9, M54.0-M54.2, M54.6-M54.9	1
97	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99の残り	16
98	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	N00-N16	18
99	腎不全	N17-N19	14
100	尿路結石症	N20-N23	1
101	その他の腎尿路系の疾患	N25-N39,N99.0-N99.1,N99.4-N99.9	65
103	その他の男性生殖器の疾患	N41-N51	2
113	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	Q00-Q18,Q25-Q99	1
114	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	2
115	骨折	S02,S12,S22,S32,S42,S52,S62,S72,S82,S92,T02,T08,T10,T12	195
116	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	S06,S26-S27,S36-S37	67
118	中毒	T36-T65	12
119	その他の損傷及びその他の外因の影響	S00-T98の残り	63
126	特殊目的用コード	U00-U99	62

14) 救急・時間外年度別患者数

(単位:人)

			2019年度	2020年度	2021年度
救急車受入患者数①			1,387	1,208	1,085
内訳	時間内	入院	371	322	282
		外来	243	170	180
		計	614	492	462
	時間外	入院	402	371	334
		外来	371	345	289
		計	773	716	623
時間外患者数②			1,689	1,022	877
内訳	入院	275	179	167	
	外来	1,414	843	710	
合計(①+②)			3,076	2,230	1,962

